

第1回 小諸市立小中学校統合準備委員会 会議録

開催日時 令和7年5月27日(火) 19:00 ～ 20:30

開催場所 小諸市役所 第3・4会議室

出席委員 清瀧 恵理 (代理出席) 花岡 桐子 清水 佳織 櫻井 浩多
井澤 昭 金井 直樹 宮坂 哲子 相原 修
小林隆一郎 佐藤 正人 柳沢 好久 清水 誠
栗林 正直 福島 全子 依田 隆司 倉島 綾子
掛川 敏彦 大森 豊也 以上18名
(欠席 : 小川 省一 依田 勝彦 以上2名)

事務局 教 育 長 山下千鶴子
教 育 次 長 安藤 貴正
学校教育課長 吉澤 一男
主幹指導主事 高柳 司
学校教育課長補佐・学校教育係長 高橋 修一
教育総務係長 笹川 望
再編整備係長 前田 裕美
再編整備係 事務主任 堀込 翔平

1 開会

〈進行：再編整備係長〉

➤ 開会に先立ち、事務局より以下３点を周知

- ①本日は第１回委員会のため、委員長・副委員長の選出が未済であることから、次第５の委員長・副委員長の互選までは事務局が進行を担当する。
- ②小諸市立小中学校統合準備委員会設置要綱の規定に基づき、会議の開催にあたっては委員の過半数の出席を必要としているが、委員 20 名中 18 名の出席が確認できたことから、本日の委員会は成立とする。
- ③本委員会は公開としており、一般市民等の傍聴も認めていることを了承願いたい。

2 委嘱書交付

〈出席委員を代表し、坂の上小学校 PTA 会長清瀧恵理氏へ委嘱書を交付。その他の委員については机上配布〉

3 教育長あいさつ

本日は、第１回小諸市立小中学校統合準備委員会にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。本日もご参集の皆様には、小中学校統合に当たって様々なお立場を代表して、準備委員として、解決への一翼を担っていただくこととなりました。本来ですと、お１人お１人に委嘱状を手渡すところですが、本日は略式にて執り行わせていただきました。ただいまは、皆様を代表して坂の上小学校 PTA 会長の清瀧恵理様に委嘱状を交付させていただきました。どうぞ皆様よろしくお願いいたします。

小諸市教育委員会では、平成 28 年から教育のあり方を軸に、学校再編の検討を続けてまいりました。この間、多くの皆様からのご意見、何より子どもたちの育ちを一番に考えて議論を重ねてまいりました。具体的に申しますと、小諸市の子どもたち 1 人 1 人に未来を切り開く生きる力を育む、そこで 1 人 1 人の学びを支えるためには何が重要であるか、どのような学びの場を作ることが最善かを中心に議論を進めてまいりました。そして令和 6 年 9 月、小諸市小中一貫教育ビジョンが校長会にて作成され、各校で動き出しております。

ビジョンの中心には目指す子ども像として、自立、立つ方の自立ですね、自ら課題を持ってその実現や解決に向けて主体的に動き出せる子ども、共生、ともに生きる、自分や仲間の良さや持ち味を発見して、互いに認め合える子ども、そして三つ目、自律、今度はぎょうにんべんの律で、自分を律する、様々な他者と出会い、関わりの中で私を発見していくことを掲げています。

そのために9年間を貫く小諸市の小中一貫教育を視点として、一つ目、対話と協働の学び、二つ目、自治的創造的な活動の充実、三つ目、全ての子どもを包み込む居心地のよい学校づくりの実現に向かおうというものであります。

もう一つに、生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点を作ることがございます。学校は地域の皆様に支えられて現在に至っており、これまでも現在も、そしてこれからも学校の先生や児童生徒だけで学校は作るものではありません。よい学校は地域なくしては成り立たないとよく言われているとおりであります。先ほどの3視点の三つ目、全ての子どもを包み込む居心地のよい学校づくりのために、地域の方々や民間の力をお借りして、校長会と教育委員会が協力して実現を図ってまいりたいとそんなふうに考えております。

学校再編実行計画の芦原新校舎につきましては、ただいま芦原新校基本設計の終盤を迎えており、現在第4回ワークショップにおきまして公開いたしました、渡邊健介建築設計事務所作成の校舎模型の回覧を芦原中学校、坂の上小学校、水明小学校、千曲小学校の順に実施しております。この間、学校関係者からのヒアリング、それから芦原中学校区の小・中学校の児童生徒、保護者からのアンケートも実施中であります。

本日はこの後、4部会に分かれての会となります。

部会によっては、校名・校章、それから学校周辺の道路、児童生徒の通学関係、PTA活動に関わる課題も含まれるかと思えます。今後は、教育委員会からの付託事項について協議・検討していただくこととなりますが、本日は、今後の推進計画、部会のメンバー構成等、各部会でご協議いただきます。

本統合準備委員会は、構成員案にありますとおり、保護者、地域住民、幼稚園保育園関係者、教職員の代表の皆さんによって組織されております。市が広く、様々な視点から検討いただけることを大変嬉しく、感謝申し上げます。令和10年の開校まで大変長丁場となります。どうぞよろしくお願いいたします。

4 自己紹介

〈委員自己紹介〉

〈事務局自己紹介〉

5 委員長、副委員長の互選

〈事務局より、委員長に栗林正直氏、副委員長に櫻井浩多氏を選出することを提案〉

〈拍手多数により承認後、就任あいさつ〉

【委員長】

ただいま委員長として指名を受けましたけれども、お集まりの皆さんの顔を見ると、これは私以上に皆さんの方がふさわしいかなと思っております。ただ、私自身、義務教育の小・中学校で9年間、それから小諸市の教職員としての7年間、合計16年お世話になりました。その恩義に報いなければいけないと思ひまして、この役を引き受けさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

【副委員長】

改めまして、副委員長に選出されました櫻井浩多と申します。未熟者でございますが、皆さんのお知恵やご意見を貸していただきながら、先ほど皆さんから発言があったように、子どもたちのためにというところで、まとまっていければ良いと思っております。よろしくお願いいたします。

6 説明・協議事項

【委員長】

設置要綱によりまして、議長が進行を務めるということで進めさせていただきます。

新しい学校の姿を生み出す大切な委員会であるように思われますが、教育長さんもおっしゃったように、様々な視点から皆さんのご意見をいただきたいと思います。私もスムーズな進行を心がけてまいります。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

では早速ですが、協議事項に入りたいと思います。次第6の説明協議事項1から3まで事務局の説明をお願いし、委員の皆様よりご意見、ご質問を受けたいと思います。

それでは次第の6、説明協議事項、括弧1から括弧3までを一括して事務局より説明をお願いいたします。

〈別添資料に基づき説明〉

- (1) 小中学校統合準備委員会設置要綱・委員名簿・専門部会員（案）について

〈再編整備係長より説明〉

- (2) 学校再編をめぐる経緯及び委員会組織・役割について

- (3) 専門部会における議題・協議スケジュールについて

〈(2)・(3)を一括で、主幹指導主事より説明〉

委員意見及び質疑応答 ※要旨のみ記載

【小林委員】

新町区の区長という立場として、区の中で新校が誕生することを踏まえ、通学路の安全性と通学バスの運行の在り方を一番気にかけている。

自身の専門部会における所属はPTA・地域部会とのことだが、通学部会に対し個人的な意見等を伝えたい場合は、どのような方法があるかご教示願いたい。

【事務局】

専門部会案に関しては、事務局にて原則的な委員の割り振りを行ったものであるが、これに縛りをかけることなく、柔軟な対応で進めたいと考えている。よって、所属外の専門部会に参加し、意見申述等を行うことは問題ないと捉えており、このために、事務局としても各委員に対し、他の部会の進捗状況や部会の開催日程等を共有できるようにしていきたいと考えている。

【小林委員】

了解した。今後、委員会・各部会の協議が進んでいく中で、個人的な意見があればお伝えすることもあるかと思うが、よろしく願いたい。

【事務局】

補足として、専門部会における議題によっては、必要に応じ担当課も関わらせていただき、現在の進捗状況や市の方針をお示しするとともに、区長、学校、PTAの皆さんへの意見聴取を行いたい事項に関しては、各委員の皆様にご助言・ご指摘をいただきながら検討を進めてまいりたいと考えている。

【委員長】

なお、年4回の準備委員会は、別紙スケジュール表のとおり決められており、各部会の開催日程として第1回は6月とあるが、準備委員会と部会との関係はどのように考えていけばよいか。

【事務局】

統合準備委員会の委員と、専門部会の部員は重複しているため、部会長、及び各部会員で進め方を検討の上、専門部会の開催日程を設定していただきたい。

【副委員長】

専門部会については案として示されたものであるため、それぞれの興味関心があると

ころにコンバート（転向・変更）することについて、各委員の興味関心事項も含め、皆さんの意見をお伺いしたい。

【委員長】

今のように柔軟に考えコンバートして、地区の実情をより明確にしていく方法ということについて、依田委員の意見はいかがか。

【依田委員】

通学路・通学バスに関し、その地区ごとの状況は、地域の皆さんが一番理解していると思うので、各地域の児童の保護者に集まっていただき、通学路・通学バスをどのように利用することが望ましいかを把握しながら協議を進めていくべきであると感じる。また、地図上だけで議論するのではなく、実際に歩いてみた上で適切な通学路を決めることや、通学バスの運行時間帯も下校後に子どもたちが多少余裕を持てるよう、幅を設けるなどの形を取るべきではないかと考える。

【委員長】

依田委員より具体的な話が出されたが、これについてはまた部会の方で協議を進めていただきたいと考える。学校関係者より、何か感じたことがあればお伝え願いたい。

【相原委員】

通学路の件に関し、新校開校後は芦原中学校の所在地に3小学校の子供たちが通ってくることになるが、このルートが基本的に通学路になるという考え方であると思っている。そこで、子どもたちが地区ごとに分かれて、このルートで通学しているということを地図に示すなどすれば、協議のためのたたき台はできるかもしれないと考えている。依田委員が示された懸案事項を検討する際には、それらを手掛かりに協議を進めるのも一案であると思う。

【宮坂委員】

バス通学に関しては、現時点でも中学生のバス利用者がいるため、従来と同じルートで通学ができるのか懸念していたところである。相原委員の意見のとおり、現状を基に通学路の検討が進められるのではないかと考えている。

【金井委員】

バス通学については、開校後に通学距離が遠くなる子どもたちが出てくるため、現状の運行本数のみでよいかということの検討が必要だろうと思う。さらに、通学方法の在り方については地域からも声が上がっており、今一番関心が高い事項であると感じてい

ることから、早急に検討を進めていかなければと思っている。

【井澤委員】

通学路以外の事項について、私自身は PTA・地域部会の部会長であるが、PTA をどのように組織していくかという議論の際には、やはり 4 校の PTA において、現役で活動している方々に加わっていただかないと話が進んでいかないだろうと考えている。専門部会員の案では水明小・芦原中の副会長が連絡調整等のために随時参加していただくとされているが、自身としては毎回参加していただきたいと思っている。よって、今後、委員としての委嘱をされる予定はあるのか等について、事務局と相談していきたいと思う。

【事務局】

委員の皆さんに全ての専門部会に入っていただくのが一番であると考えているが、個々の負担を考慮し、エリア等に基づき事務局にて人員の割り振りをさせていただいた。PTA 副会長とは必要に応じやり取りをさせていただきながら、その都度市よりお声掛けをして参加をお願いしていくこととしたいと考えている。

【委員長】

専門部会長である校長先生のお立場や、地域の方々の考えもあるようだが、実際に子どもと接しておられる保護者として、PTA 会長の皆さんから伝えておきたいことがあればお話し願いたい。

【清瀧委員】

質問をお願いしたい。資料中、『今後の進め方について』の中に、閉校記念事業に関する事項がそれぞれの部会に記載されているが、これは 4 校合同の閉校記念事業を行うという認識でよろしいか。

【事務局】

一般的に他の自治体のケースを見ると、総務部会が閉校記念行事を担当しているケースが多い。ただし、総務部会における協議事項は多岐にわたるため、閉校記念事業の企画・検討については、それぞれの学校独自ではなく、最低限小諸市として大切にすべき事柄を備えたもの、いわゆる雛形を整えるのみと考えている。

ただし、記念事業に関しては、それぞれの学校における地域性や地域の皆さんの思い、学校の文化として考えることが望ましいと考えており、PTA の皆さんに関わっていただくことが多いと思われる。よって、PTA・地域部会のスケジュールを前倒しし、構想を練っていただいたものを総務部会で整理し、その他の部会の皆さんにもお力添えいただきたいという考えで資料に示させていただいた。

【清瀧委員】

今年度に坂の上小学校が 100 周年を迎え、それを記念して準備を進めているところであるが、102 周年のときに閉校を迎えるということでそろそろ話が出始めている。

では、学校の方で独自に検討を進めるのではなく、この専門部会のある程度のたたき台をもとに進めるべきという主旨で所属の PTA に話を下ろしてもよいか。

【事務局】

清瀧委員の考えとは順番が逆でよいと考える。それぞれの学校独自の文化があり、記念事業や行事は学校ごとに異なるため、それぞれの学校でこのような閉校記念事業を考えているという意見や案を持ち寄っていただき、総務部会で情報共有しながら検討を進めるのが自然であると考えているが、いかがか。

【清瀧委員】

了解した。102 周年の閉校に向けて話が出ていることから、そちらでも話を進めつつ、小学校独自でこういうことを行いたいといった話が出た際には部会へ、という理解でよろしいか（→事務局了承）。

【委員長】

では、千曲小清水委員、水明小松尾（代理花岡）委員からも一言お願いしたい。

【清水委員】

新校がどうなっていくのか、今は見届けられるような感じにいる。特に何をしようという考えはまだまとまっていないが、子どもたちのためにいろいろ口出しのようなものができたら、と思っている次第である。

【松尾（代理花岡）委員】

本日 PTA 会長は不在のため、副会長として代理で出席している。副会長は PTA・地域部会の担当となるが、水明小学校の芝生の校庭など残したいものが多くあり、保護者の皆さんは特に、通学路における狭い道路やスクールバスの運行、行事の際の駐車場所等について一番気にしていることから、これらの課題について考えていけたらと思っている。

【委員長】

続いて、幼児教育の方から福島委員にコメントをいただきたい。

【福島委員】

専門部会に関し、部会の中では協議事項に関するたたき台があるという認識で参加してよろしいか。

【事務局】

基本的には、部会員の皆さんからこのような話をしたいのでどうか、というようなご質問を部会が終わった後にいただき、次回の部会に向けて事務局側でご用意できるものをお示ししたり、必要に応じ担当課が部会で説明したりして、部会員の皆さんに方針や方向性を決めていただければと考えている。また、必要な資料については庁内で揃えられるところは揃えていくという、そんなイメージを持っていただければと思っている。

〈意見聴取・質疑応答は一旦終了〉

7 その他

(1) 第2回小諸市立小中学校統合準備委員会の開催について

【決定事項】

8月26日(火) 19:00～20:30(会場:市民交流センター会議室を予定)

〈次第6までの全体会は以上をもって終了とし、以降は専門部会ごとに分かれ今後の協議事項・スケジュールを確認後、流れ解散〉

以上